

山椒大夫 さんしょうだゆう

森 もり

鷗外 おうがい

越後の春日を経て今津へ出る えちごのかすがをへいまづ

道を、珍らしい旅人の一群れが みちめずたびひとむ

歩いている。母は三十歳をこえ あるははさんじゅうさい

たばかりの女で、二人の子供を おんなふたりこども

連れている。姉は十四、弟は十 つあねじゅうしおとうとじゅう

二である。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。